

令和4年度公益財団法人神奈川県スポーツ協会事業計画

【基本方針】

新型コロナウイルス対応を契機とした社会の変化を適切に捉え、コロナウイルスとの共存生活「ウィズコロナ」を踏まえ、感染拡大予防ガイドラインを遵守して、スポーツを通じ活気にあふれ、豊かな人間形成ができる社会、だれでも、どこでも、いつまでも、性別や年齢、障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめる社会の実現を目指します。

そのため、加盟団体はもとより県内スポーツ団体との緊密な連携のもと、スポーツを振興し、県民の体力向上と健康で明るく豊かな生活及び活力ある社会の実現に寄与するための諸事業を積極的に展開していきます。

また、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、本県ゆかりのアスリート達の躍動する姿やボランティアのひたむきな努力が、喜びや感動につながり、県民のスポーツへの関心が高まりました。

これらを一過性のものとせず、さらなる県民のスポーツ振興を図るため、スポーツ環境の基盤強化などに取組んでいきます。

【重点施策】

基本方針に基づき、加盟団体、県スポーツ局、県教育委員会及び関係機関と協働し、次の施策を重点的に進めます。

1 世界に羽ばたく選手を神奈川から

(1) かながわ・ゆめ国体を契機に培ってきた競技力向上対策システムの継承と、加盟競技団体や医科学支援スタッフ等が連携し、選手の安全・安心を確保した育成・強化を推進し、第77回国民体育大会での上位入賞を目指して神奈川県選手団を編成し派遣します。

- ・選手強化事業
- ・スポーツ医科学振興事業
- ・国体派遣事業
- ・国体コーチ等派遣・研修事業 等

(2) 将来性のあるジュニア選手を発掘し、その個人に応じた一貫指導を継続的に実施し、ジュニア選手の発掘、育成の充実を図ります。

- ・ジュニア選手強化事業

2 スポーツを通じた青少年の健全育成

スポーツを通じて、子どもたちが仲間や指導者と交流することによりコミュニケーション能力を育成し、自己責任やフェアプレーの精神を身につけ、他人に対する思いやりや多様な価値観を認めあう豊かな心を育み、国際的な友好と親善に貢献できる人間形成を目指します。

- ・スポーツ少年団の運営
- ・指導者、リーダーの養成・育成事業 等

3 だれでも楽しめるスポーツの推進

県をはじめとし、関係機関と連携してだれでも、どこでも、いつまでもという「Sports For ALL」を推進します。

一部新・スポーツ教室の開催

一部新・総合型地域スポーツクラブの育成・支援

- ・高齢者、障がい者の競技会等の支援
- ・国際スポーツ交流の促進
- ・特定非営利活動法人神奈川県レクリエーション協会や一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会等との連携 等

4 スポーツと環境

スポーツと環境かながわ宣言に基づく行動と実践を推進し、美しく豊かな自然との共存を目指して、神奈川の素晴らしい環境を次の世代に残すため、R e f u s e、R e d u c e、R e u s e、R e c y c l eを念頭に環境に優しいスポーツ活動を推進します。

- ・「スポーツと環境」の普及啓発について他団体との連携 等

5 もうひとつの社会貢献活動

スポーツのさまざまな場面を活用した社会貢献活動への取り組みを進めます。

- ・ 「いじめ防止」の意識づくりを推進するため「いじめ防止啓発ポスター」を作成します。
- ・ 国際大会や国民体育大会等での活躍が見込まれる県内アスリートの県内就職への支援をします。

6 スポーツ振興を図るための諸事業

- (1) スポーツ団体ガバナンスコードを遵守し、公益財団法人として適正で健全な業務運営に努めます。
- (2) 県立スポーツ会館の指定管理者として適正で健全な管理運営をします。
- (3) 県立スポーツセンターの運営支援業務を行います。
- (4) スポーツ安全協会の業務を受託し、スポーツ安全保険業務を通じてスポーツ活動及び社会教育活動の普及奨励を行います。
- (5) 機関誌「スポーツ神奈川」等の発行やオフィシャルウェブサイトなどを通じ、本会の施策と事業を総合的に広報し啓発します。
- (6) ゴルファー募金の募金活動を推進し、募金を青少年スポーツ振興、社会貢献活動事業などに有効活用します。

神奈川県スポーツ協会施策・事業体系図（管理運営費を除く）

（単位：円）

令和4年度予算額 前年度予算額

		令和4年度予算額	前年度予算額		
魅力、そして活力ある「かながわ」の創生	世界「かながわ」から選手を	選手の発掘・強化・育成	選手強化事業費 41,240,000	40,970,000	
			ジュニア選手強化事業費 40,735,000	41,805,000	
			競技力向上対策積立事業費(収益) 3,892,000	3,902,000	
			競技力向上委員会等の開催		
		国民体育大会への県選手団派遣	国体派遣費 132,289,000	136,476,000	
			国体コーチ等派遣研修事業費 6,733,000	6,627,000	
			国体ユニホーム作成事業費 5,785,000	5,785,000	
			国体参加者傷害補償制度分担金 1,209,000	1,209,000	
			国体選手健康管理事業費 4,808,000	6,627,000	
			スポーツ医科学の振興	スポーツ医科学サポート事業費 40,000	40,000
だれでも楽しめるスポーツの推進	スポーツ青少年の育成		アンチドーピング教育啓発事業費 241,000	241,000	
			メディカルサービスステーション開設費 150,000	150,000	
			トレーナー研修会開催費 510,000	510,000	
			スポーツ医科学支援事業費 135,000	132,000	
			スポーツ医科学ハンドブック販売事業費(収益) 10,000	10,000	
			スポーツ医科学委員会の開催		
		スポーツ少年団の育成、指導者、リーダーの養成	団員・指導者登録料 3,470,000	3,450,000	
			指導者・リーダー養成研修事業費 1,054,000	1,054,000	
			スポーツ少年団委員会等の開催		
		活動交流事業	派遣事業費 1,318,000	1,167,000	
	県内交流事業費 3,679,000	3,661,000			
組織整備強化事業	一部新 組織整備強化事業費 8,642,000	2,453,000			
表彰事業	表彰事業費 500,000	500,000			
広報事業	再 スポーツ少年団広報事業費 472,000	355,000			
	スポーツ教室の開催	水泳教室開設費 4,421,000	4,575,000		
		テニス教室開設費 9,405,000	8,211,000		
		卓球教室開設費 724,000	719,000		
		フィットネス系教室開設費 717,000	721,000		
		太極拳教室開設費 176,000	180,000		
		キッズダンス教室開設費 265,000	294,000		
		キッズバスケットボール教室開設費 893,000	527,000		
		トレーニング教室開設費 317,000	264,000		
		空手道教室開設費 0	27,000		
		健康体力アップ教室開設費 217,000	0		
		初 スポーツ会館利用促進事業費 103,000	0		
		英会話教室開設費 1,471,000	0		
		顔ヨガ教室開設費 369,000	0		
		新 美文文字教室開設費 339,000	0		
		県立スポーツセンター開催教室開設費 6,753,000	6,783,000		
		再 スポーツ教室広報事業費 699,000	594,000		
		親子英語リトミック教室開設費 0	515,000		
	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	総合型地域スポーツクラブ育成事業費 2,772,000	1,880,000		
		新 地域のスポーツ環境基盤強化事業費 1,700,000	0		
		総合型地域スポーツクラブ登録・認証事業費 0	2,000,000		
	スポーツ指導者の育成事業	J S P O公認資格講習会開設費 125,000	81,000		
		スポーツ指導者研修会等開設費 115,000	116,000		
	地域スポーツ振興の組織づくり	地域体育・スポーツ協会組織整備費 680,000	680,000		
		スポーツ指導者協議会組織整備費 250,000	250,000		
		生涯スポーツ委員会の開催			
	公立スポーツ施設の管理運営	再 スポーツ会館管理運営費 22,922,000	22,861,000		
		生涯スポーツ研修事業費 0	371,000		
		再 県立スポーツセンターの運営支援 13,135,000	13,487,000		
	再 スポーツ医科学の支援	メディカルサービスステーション開設費 150,000	150,000		
		トレーナー研修会開催費 510,000	510,000		
		スポーツ医科学支援事業費 135,000	132,000		
		スポーツ医科学ハンドブック販売事業費(収益) 10,000	10,000		
	再 スポーツに関する情報提供、広報	スポーツ情報提供事業費 163,000	1,360,000		
		スポーツ神奈川等発行事業費 543,000	543,000		

		令和4年度予算額	令和3年度予算額
スポーツと環境	環境に優しいスポーツ活動の推進	—	スポーツと環境かながわ宣言の普及啓発
もうひとつの社会貢献	スポーツを通じた社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> └ スポーツを通じた「いじめ防止」活動の推進 555,000 └ アスリート就職活動の支援 100,000 	555,000 100,000
	もうひとつの社会貢献活動推進部会の開催		
スポーツ振興を図るための諸事業	理事会、評議員会の開催		
	総務、財務委員会の開催		
	公立スポーツ施設の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> └ スポーツ会館管理運営費 22,922,000 └ 県立スポーツセンターの運営支援 13,135,000 	22,861,000 13,487,000
	スポーツ安全協会業務	—	スポーツ安全協会事務受託事業費(収) 19,246,000
	スポーツに関する情報提供、広報	<ul style="list-style-type: none"> └ スポーツ神奈川等発行事業費 543,000 └ スポーツ教室広報事業費 699,000 └ スポーツ少年団広報事業費 472,000 └ 「いじめ防止」ポスターの作成 555,000 └ スポーツ情報提供事業費 163,000 └ 広報委員会の開催 1,360,000 	543,000 699,000 355,000 555,000 1,360,000
	ゴルファー募金の募金活動と基金管理		
	加盟団体代表者会議、マネジメント研修会等の開催		
	暴力行為等相談窓口の運営		

総務・財務委員会

重点施策：スポーツと環境

：もうひとつの社会貢献活動

：スポーツ振興を図るための諸事業

- 1 本会の運営並びに事業に関する総合的企画立案に努める。
- 2 加盟団体の育成並びに連携調整を行うため、加盟団体代表者会議等を開催する。
- 3 未加盟スポーツ団体の組織化について指導助言を行う。
- 4 県立スポーツ会館の施設を管理し、体育館等を利用してのスポーツの普及に努めるとともに、祝日に一般開放を行う。また、県立スポーツセンターの運営支援業務を行う。
- 5 スポーツ安全協会の業務を受託し、スポーツ安全保険の加入受理業務を通じてスポーツ活動及び社会教育活動の普及奨励を行う。
- 6 「もうひとつの社会貢献活動推進部会」が中心となって、スポーツを通じた社会貢献活動を推進するとともに、アスリートの就職活動を支援する。
- 7 自己財源の確立を図るため、総合的企画立案に努める。
- 8 恒久的な財産を確保するために基本金等の増加、確保に努め、財務体質の強化を図る。
- 9 加盟団体及び関係役員の協力を仰ぐとともに、企業等の協力を得て賛助会費、特別協賛金、寄付金、スポーツ推進費付自動販売機設置を拡充し、増額を図る。
- 10 財源確保を考慮した自主事業の開催について検討する。

競技力向上委員会

【重点施策：世界に羽ばたく選手を神奈川から】

1 競技力向上対策事業

(1) 選手強化事業

国民体育大会において、優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制を整備・充実・発展させ、国体参加における成年種別及び少年種別の選手強化を目的とした事業を行う競技団体に支援する。また、女子種別の抜本的な強化を図るため、該当競技団体に対し支援する。

(2) ジュニア選手強化事業

ジュニアからの選手発掘・育成・強化を図るため、一貫指導を継続的に実施できる体制を確立する競技団体に支援する。

(3) 競技力向上対策積立事業

「神奈川らしさ」をデザインしたポロシャツ・Tシャツ・トレーナーを作成、頒布し、収益の一部を「競技力向上対策事業費積立金」に充当する。

(4) 強化責任者合同研修会

国民体育大会での恒常的な上位入賞を目指すため、競技力向上委員会に位置づけられている1課から4課会議の構成メンバーである強化責任者等を対象に、本県

における競技力向上対策についての意見交換を行うとともに、国民体育大会に対する考え方を共通の認識とすることを目的に開催する。

2 国体対策事業

(1) 国体派遣事業

ア 国体監督・選手、本部役員派遣

第77回国民体育大会の県代表監督・選手並びに本部役員を決定し派遣する。

(冬季大会は特別国体)

(ア) 関東ブロック大会 (東京都)

令和4年 6月11日(土)～12月18日(日)

(イ) 本大会 (栃木県)

令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

*水泳、体操、バレーボール(ビーチ)、弓道競技は、
9月10日(土)～19日(月)に実施。

(ウ) 冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会 (青森県)

令和5年1月28日(土)～2月5日(日)

スキー競技会 (岩手県)

令和5年2月17日(金)～20日(月)

イ 国体コーチ等派遣

第77回国民体育大会(冬季大会は特別国体)にコーチ・トレーナー等を派遣し、各選手・チームをサポートすると同時に、他県の戦力分析を行い、今後の強化策を策定する。

(2) 国体ユニホーム作成事業

県選手団ユニホームを作成・配布する。

(3) 国体選手優勝団体等表彰式の開催

第77回国体での、選手並びに競技団体への労をねぎらうとともに、チーム神奈川の結束をより強いものとし、翌年の特別国体への飛躍を誓う場として開催する。

生涯スポーツ委員会

【重点施策：だれでも楽しめるスポーツの推進】

(Sports For Allの実現)

1 地域スポーツ振興事業

- (1) 生涯スポーツの普及・振興及び未病改善を目的に、競技団体等と連携を図り、教室を積極的に展開する。＜15教室、8会場、168コース＞

ア	水泳教室	・・・	4会場	24	コース(平塚・秦野・南足柄・県立スポーツセンター)
イ	テニス教室	・・・	3会場	37	コース(三ツ沢・清水ヶ丘・大井町)
ウ	卓球教室	・・・	2会場	18	コース(県立スポーツ会館・県立スポーツセンター)
エ	ヨガ教室	・・・	2会場	17	コース(県立スポーツ会館、県立スポーツセンター)
オ	太極拳教室	・・・	2会場	6	コース(県立スポーツ会館、県立スポーツセンター)
カ	キッズダンス教室	・・・	1会場	6	コース(県立スポーツ会館)
キ	キッズバスケットボール教室	・・・	1会場	6	コース(県立スポーツ会館)
ク	トレーニング教室	・・・	1会場	3	コース(県立スポーツ会館)
ケ	健康体力アップ教室	・・・	2会場	6	コース(県立スポーツ会館、県立スポーツセンター)
コ	スポーツキッズ教室	・・・	1会場	9	コース(県立スポーツセンター)
サ	親子体操教室	・・・	1会場	6	コース(県立スポーツセンター)
シ	エアロビック教室	・・・	1会場	6	コース(県立スポーツセンター)
新	英会話教室	・・・	1会場	16	コース(県立スポーツ会館)
新	顔ヨガ教室	・・・	1会場	4	コース(県立スポーツ会館)
新	美文字教室	・・・	1会場	4	コース(県立スポーツ会館)

(2) 総合型地域スポーツクラブを中心とした、地域スポーツクラブの育成支援を県スポーツ課及び県立スポーツセンターと連携し展開する。

ア クラブアドバイザーの配置

イ クラブマネジメント研修会の開催

令和5年 1月21日(土) or 22日(日) 県立スポーツ会館(予定)

ウ 一般社団法人神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク(KSN)への支援

新エ 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

(3) 関連機関・団体と連携を密にし、県民の生涯スポーツ振興に関する事業を展開する。

スポーツ会館利用促進事業として、救急法講習会、ロコモチェック測定会、障がい者スポーツ教室等を展開していく。

2 指導者育成事業

(1) 地域スポーツ振興の核となる指導者の養成を図るため、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく指導者養成講習会を開催する。

<コーチ1(専門科目)>

軟式野球、バレーボール、卓球、バドミントン、ソフトボール

<コーチ2(専門科目)>

テニス、卓球、バドミントン

<コーチ2(共通科目)>

神奈川県スポーツ協会

(2) スポーツ指導者の資質向上を図るため、新しい時代にふさわしいコーチングスキルの獲得や論理的思考力の向上を目指す指導者研修会等を開催する。

<年2回開催予定>

◇第1回 令和4年9月17日(土) or 18日(日) 県立スポーツ会館(予定)

◇第2回 令和5年3月18日(土) or 19日(日) 県立スポーツ会館(予定)

3 組織づくり事業

- (1) 地域スポーツの振興を図るため、地域体育・スポーツ協会、スポーツ指導者連絡協議会等を助成し、組織の育成を支援する。
- (2) 公認スポーツ指導者等に関する管理業務を行う。

スポーツ医科学委員会

〔重点施策：世界に羽ばたく選手を神奈川から
：だれもが楽しめるスポーツの推進〕

1 国体選手健康管理事業

県代表選手の疾患や外傷・障害を早期に発見し、発病を予防することにより、国体での事故を未然に防ぎ、競技力を向上させるとともに競技者としての健康管理に関する意識高揚を図るため健康診断を実施する。

2 医科学サポート事業

(1) 医科学サポートシステムの活用

競技力向上を目的としたジュニア選手に対し、安全かつ効率的なトレーニング方法等を探るため、メディカル・フィジカルチェック、メンタル、栄養調査等を実施し、指導者や選手、さらには保護者に対してその結果をフィードバックする等、医科学的側面から支援する。

(2) 国体チームドクター等の派遣

本県選手団の傷病等の状況把握と医事相談及びドーピング・コントロールに関する指導、助言を行う。

(3) メディカルサービスステーション開設事業

スポーツイベント・競技会等に参加する愛好者・選手に対し医科学サポートを目的としたメディカルサービスステーションを開設するとともに、トレーナーバンク登録者の現場研修の場とする。

3 教育・啓発事業の実施

(1) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

国体選手・監督・コーチングスタッフを対象としたアンチ・ドーピングへの意識付けと知識の向上を目的とした教育・啓発事業を実施する。

(2) トレーナー研修会開催事業

トレーナーの資質向上等のため、研修会を実施する。

4 支援事業

加盟団体及び関係団体・機関にスポーツドクター等医科学スタッフを派遣し、事業支援を行う。

- (1) 日本スポーツ協会加盟団体スポーツドクター代表者協議会等に委員を派遣する。
- (2) 国民体育大会ドクターズミーティングに参加する。
- (3) 加盟競技団体・関係団体への医科学事業に協力する。
- (4) スポーツイベント・競技会等への医科学スタッフ招請希望に対し、スポーツドクターやトレーナー等の活用を図るとともに救急システムの確立に協力する。

広報委員会

【重点施策：スポーツ振興を図るための諸事業】

1 広報誌等の発刊

- (1) 機関誌「スポーツ神奈川」を作成し、本会の施策と事業を総合的に広報する。

ア	スポーツ神奈川第99号	A4版	約 20頁	令和4年	8月頃	600部
イ	スポーツ神奈川第100号	A4版	約 40頁	令和5年	2月頃	600部
ウ	令和4・5年度要覧			令和4年	10月頃	必要部数プリントアウト
エ	令和4・5年度名簿集			令和4年	10月頃	ホームページ上に掲載
- (2) 「神奈川スポ少だより」を作成し県内登録団及び指導者へ配布する。
- (3) 神奈川県登録の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者へ「スポーツ情報誌」を発行する。
- (4) 日本スポーツ協会機関誌「Sport Japan」等へ寄稿する。

- 2 オフィシャルウェブサイト、SNSなどを通して、迅速に広く一般に対して、国民体育大会等の結果や、スポーツ教室及び講習会開催案内などの各種スポーツ情報を提供する。

- 3 社会貢献活動に関するポスターの作成等の広報活動を行う。

ゴルファー募金活用委員会

【重点施策：スポーツ振興を図るための諸事業】

1 募金活動と基金管理

ゴルファー募金運営委員会と協働して募金事業を推進し、運営委員会から配分されたゴルファー募金を有効に活用して、青少年スポーツ振興事業及びスポーツ医科学事業のほか、社会貢献活動事業として「いじめ防止啓発ポスター」の作成等の財源として活用するとともに、積立金を適正に管理する。

スポーツ少年団

【重点施策：スポーツを通じた青少年の健全育成】

1 育成事業

- (1) 指導者の養成及び研修に関すること。
 - ア スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(5コース)を開催する。
- (2) リーダーの養成及び研修に関すること。
 - ア ジュニアリーダースクールを開催する。
 - イ リーダー会の育成を図る。
- (3) 指導者の資質向上に関すること。
 - ア 神奈川県スポーツ少年団指導者研修会を開催する。
 - イ 神奈川県スポーツ少年団指導者研究大会を開催する。

2 活動交流事業

- (1) 普及・啓発イベントを開催する。
- (2) 県内スポーツ少年団競技別交流大会を開催する。(8競技・10大会)
 - ア バドミントン競技
 - イ 軟式野球競技
 - ウ ミニバスケットボール競技
 - エ バレーボール競技
 - オ 空手道競技
 - カ 剣道競技
 - キ 柔道競技
 - ク サッカー競技
- 新 (3) 第41回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を開催する。(神奈川県)
- (4) 全国スポーツ少年団競技別交流大会に参加する。(3競技)
 - ア 軟式野球競技(奈良県)
 - イ 剣道競技(新潟県)
 - ウ バレーボール競技(静岡県)
- (5) 第60回全国スポーツ少年大会に参加する。(鹿児島県)
- (6) 第53回関東ブロックスポーツ少年大会に参加する。(東京都)

3 組織整備強化事業

- (1) 市町本部組織整備及び活動を促進する。
- (2) 指導者協議会の組織整備及び活動を促進する。
- (3) 本部未設置市町村体育協会に対し、本部設立に向けて促進を図る。
- (4) 外部指導者組織との連携強化を図る。

4 表彰事業

- (1) 神奈川県スポーツ少年団表彰式（第49回優良スポーツ少年団表彰並びに第36回スポーツ少年団指導者表彰）を開催する。
- (2) 日本スポーツ少年団顕彰団体・指導者の伝達表彰式を開催する。
- (3) 全国スポーツ少年団競技別交流大会激励会を開催する。

5 広報事業（再掲）

- (1) 「神奈川スポ少だより」を作成し県内登録団及び指導者へ配布する。
- (2) 本会ホームページのスポーツ少年団関係ページの充実を図る。
- (3) 「スポーツ神奈川」及び日本スポーツ協会機関誌「Sport Japan」等へ寄稿する。

6 日本スポーツ少年団に関すること。

- (1) 日本スポーツ少年団登録業務を行う。
- 新**(2) 日本スポーツ少年団関東ブロック会議を開催する。（神奈川県）
- (3) 指導者及びリーダーに関すること
 - ア スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会に参加する。
 - イ スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会に参加する。
 - ウ シニアリーダースクールに参加する。
 - エ 全国スポーツ少年団リーダー連絡会に参加する。
 - オ 第5回ジュニアスポーツフォーラムに参加する。
 - カ アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) 講師講習会に参加する。
 - キ アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) 講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナーに参加する。
 - ク アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) 普及促進研修会を開催する。

7 関東ブロックスポーツ少年団に関すること。

- 新**(1) 関東ブロック連絡会議に参加を開催する。（幹事県：神奈川県）
- 新**(2) 関東ブロック競技別交流大会・スポーツ少年大会実行委員会を開催する。（神奈川県）
- (3) 関東ブロック指導者研究協議会に参加する（栃木県）
- (4) 第21関東ブロックリーダー研究大会に参加する。（千葉県）

倫理委員会

【重点施策：スポーツ振興を図るための諸事業】

- 1 本会及び本会役職員の綱紀粛正を推進する。
- 2 本会及び本会加盟団体における定款及び関係規程の遵守を徹底する。
- 3 問題事案が生じた場合には、事実確認を行い、処分等を検討する。
- 4 暴力行為・コンプライアンス相談窓口の運営等により、スポーツ界から暴力行為等を根絶する取り組みを推進する。